



Nipponham Group

## 第81回定時株主総会

ニッポンハムグループ

# 2026年3月期ご報告・ 企業価値向上への取り組み

2026年6月24日

日本ハム株式会社

代表取締役社長 前田 文男

- 所信表明
- 2026年3月期 通期業績結果
- 2027年3月期 通期計画
- 2027年3月期 戦略
  - 2027年3月期 事業戦略  
加工・食肉・スポーツ・エンターテイメント
  - サステナビリティ戦略
  - たんぱく質の可能性拡大・新事業創出
- 配当と株主還元

# 中期経営計画2026 構造改革・成長戦略・風土改革の三位一体戦略を継承 食のインフラを担い、新たな価値提供でVision2030のその先の成長へ引き上げていく

日本人のたんぱく質  
総摂取量の6%を供給

唯一無二の  
ニッポンハムグループの  
強みを活かした  
攻めの経営

## 攻めの成長戦略

規律ある経営判断の積み重ねで  
更なる飛躍と新たな成長へ

## 攻めの構造改革

利益の質を更にあげる

たんぱく質の再定義  
プロテインの新時代

エンタメ事業の  
飛躍

海外事業の  
収益基盤と  
成長加速

既存事業

成長戦略

構造改革

2026

2030

川上強化やボールパーク事業の収益化など、  
自律的な収益基盤の強化策が奏功し、過去最高益を達成

## 2025年度（2026年3月期）通期実績

売上高 **14,574 億円** 前年比 +6.3%

事業利益 **683 億円** 前年比 +60.7%

親会社の所有者に  
帰属する当期利益 **351 億円** 前年比 +31.9%

経営指標 **ROE 6.6%** 前年差 +1.5%  
**EPS 361.13円** 前年差 +98円

株価指標 **PBR 1.23倍** 対前期末+0.28  
(期末時点)

( )内：前年差

売上高

事業利益

加工事業本部

**5,303億円**  
(▲30)

**72億円**  
(▲29)

食肉事業本部

**10,341億円**  
(+388)

**613億円**  
(+273)

ボールパーク  
事業

**310億円**  
(+32)

**54億円**  
(+21)

消去調整他

△ **1,381億円**  
(+85)

△ **56億円**  
(▲7)

合計

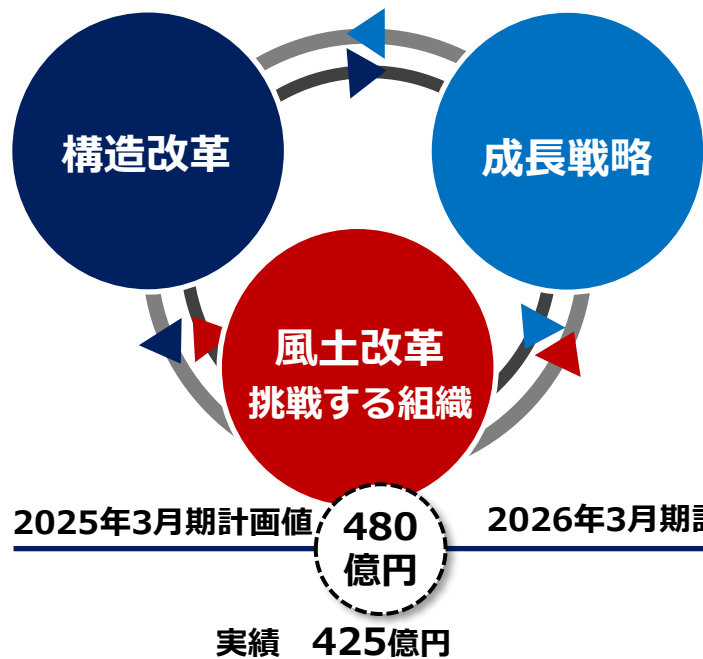
**14,574億円**  
(+868)

**683億円**  
(+258)

Vision2030の先にある次のステージへの成長基盤を構築する。中計2026で培った“稼ぐ力”と“打ち返す力”で、中東情勢の逆風下でも事業利益610億円を計画

中期経営計画 2026

2027年3月期 通期計画



売上高	15,000 億円	前年比 +2.9%
事業利益	610 億円	前年比 ▲10.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	380 億円	前年比 +8.4%
経営指標	ROE 7.2% EPS 403.68円	前年差 +0.6% 前年差 +42.55円

企業価値の  
最大化

構造改革により利益創出力を高めた製造・営業体制を基盤に、  
販売数量の拡大とグローバル収益力を向上

## トップライン拡大

営業力を強靱化し、収益性を意識した  
売上拡大の追求



## グローバルな売上拡大

シャウエッセンを世界ブランドに



2027年3月期計画 売上高 5,600億円 (+297億円) 事業利益 120億円 (+48億円)

※( )内 前年差

# 国産鶏肉の生産体制再構築と豪州牛肉事業拡充、安定収益を支える強靱な販売体制の進化で、食のインフラとしての価値をさらに向上

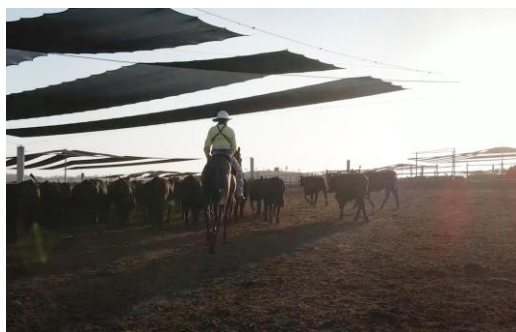
生産・需給・調達の基盤拡充

エリア・チャネル特性に合わせた販売戦略の深化

国産鶏事業のさらなる拡大

将来を見据えた豪州事業の拡充

適正な価格転嫁と販売数量の確保  
フード会社の販売力強化による稼ぐ力の最大化



データ活用提案

重点チャネル拡大

加工品販売の拡大

**ルート販売力**

全国に跨るフード販売網

2027年3月期計画 売上高 10,450億円（+109億円） 事業利益 500億円（▲113億円）

※（ ）内 前年差



# スポーツ・エンターテインメント事業へのステージアップ 周辺開発による収益拡大と加工・食肉事業とのシナジー創出

共同創造空間から  
顧客価値最大化へ

集客・プロモーション



エンタメ・サービス強化



2028年新駅開業等  
に向けた周辺施設開発



グループシナジー創出

シャウ祭り・シャウエッセン冠試合



桜姫®ナイト・ザンから祭り

JA全農×ニッポンハム  
一球牛魂!和牛ナイター



2027年3月期計画

売上高 320億円 (+5億円)

事業利益 40億円 (▲9億円)

※( )内 前年差

# 畜産・食を起点に、グループの強みを活かした活動を着実に推進。 事業リスクの低減と将来の競争力強化と捉え、サステナビリティ戦略を深化

たんぱく質の  
安定供給・調達

持続可能な地球環境  
への貢献


食を通じた豊かな  
生活への貢献

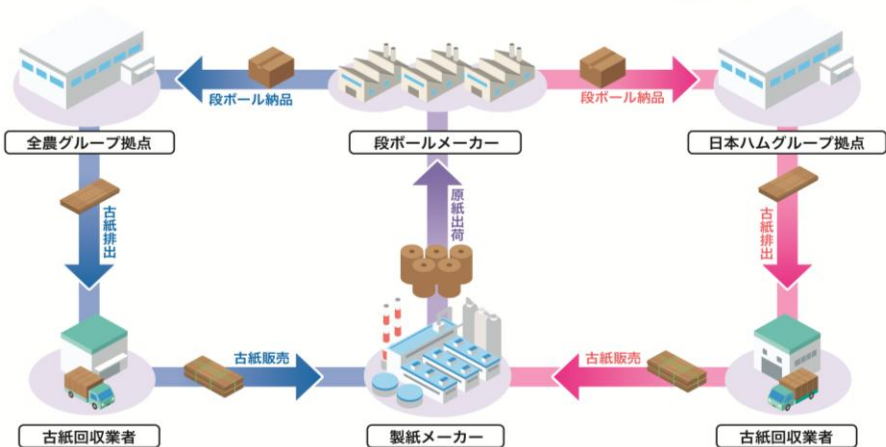
挑戦する組織風土の  
醸成

## J A全農との共創

持続可能な国内畜産業の追求

畜産・加工食品用段ボールの循環型リサイクル共創モデル


 国内古紙循環率100%の達成を目指して
 



令和7年度消費者志向経営優良事例表彰  
内閣府特命担当大臣表彰受賞



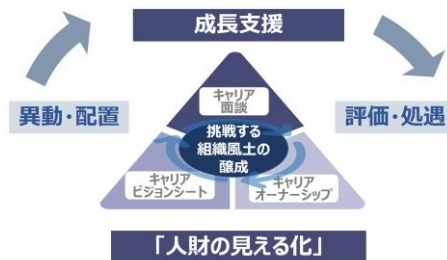
食  
2026  
食育実践優良法人

官民連携食育プラットフォーム  
設立発起人企業として参画。  
2026食育実践優良法人認定



Groups' various challenge activities are being expanded horizontally.

## 成長支援と戦略的な人材循環サイクル



事業活動の過程で生じる新素材で、将来の収益源となる新事業創出も推進。  
新しい価値創造でニッポンハムグループの持続的な成長を目指す



Proteininnovation = Protein + innovation  
たんぱく質 革新

## 未活用素材

- ウシの腱
- 動物の歯
- 鶏糞灰
- 有機たい肥
- 
- 

地域連携・  
社外共創  
の加速

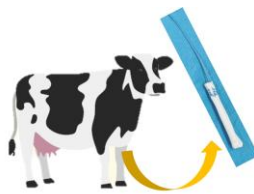
## 新しい価値創造

再生医療への応用・社会課題の解決

ヘルスケア／医療領域

アップサイクル

環境配慮型  
農業



ウシの腱を再生医療に  
(開発を進めるスタートアップへ出資)



ペット骨移植素材



生分解性農業用  
マルチフィルム



北海道小麦  
えふのちから

## 新たな収益源

- ブランド価値・NHGへの信頼向上
- 新事業・新サービスによる収益化
- 新市場・更なる挑戦機会の創出

中長期成長・継続的な配当成長を目指して取組みを加速  
当社株式への投資魅力を高め、更なる企業価値向上を目指す

## 株主還元の強化

配当

2025年  
3月期

**135円**  
(+16円)

2026年  
3月期

**160円**  
(+25円)

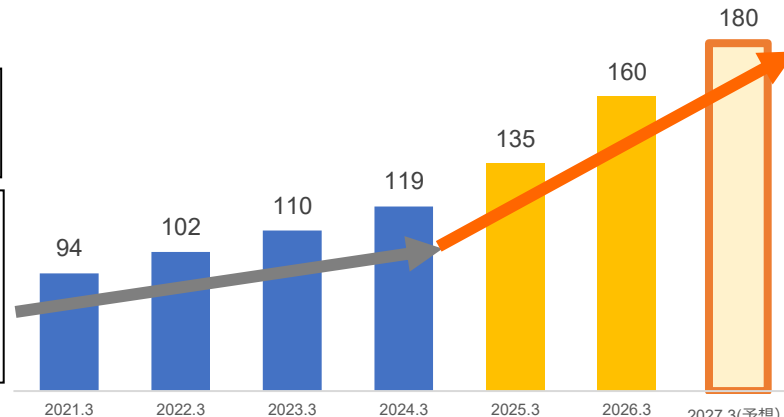
2027年  
3月期 (予想)

分割前 **180円**  
(+20円)

分割後換算 **60円**

自己  
株式  
取得

中計2026 3カ年計900億円  
2027年3月期  
**400億円の自己株式取得枠を設定。**



中計2026目標DOE3.0%以上を実現見通し

※DOE=配当総額÷株主資本

## 投資しやすい環境整備

株式  
分割

2026年10月1日効力発生  
**1株につき3株の  
割合をもって分割**

株式分割に伴い、新たな株主優待制度へ移行  
新100株・長期保有へ新たな優待贈呈フレームを設計



Nipponham Group



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030